

1年生学年だよ

平成29(2017)年4月27日

第11号

吹田市立第二中学校第一学年

「家庭学習ドリル」スタート!

本日より「家庭学習ドリル」の取り組みが始まります。まずは、どうしてこの取り組みをするのか、下のお話を読んでみてください。

ドリルノートは何のため?

☆**学習習慣の定着** ☆**基礎学力の向上** が大きな理由です。

お笑い芸人ロザンの宇治原さんを知っていますか?クイズ番組などで活躍されていますね。

彼が大切にしていたのが、自宅での**基礎学習**です。

宇治原さんは、特に**進学塾**に通うことなく、自分でたてたスケジュールにそって勉強していました。また**難しい問題**にいきなり取り組むのではなく、**基礎からコツコツ勉強**したそうです。

もちろん、すぐに結果が出たわけではありませんが、**基礎がしっかり身につ**いていたことと、自分で**計画的に勉強**する習慣があったことで、**グングン成績も伸び**ていき、**目標とする大学に合格**することができました。これは宇治原さんが特別だからできたことではありません。**予習・復習**を含めた**自習の習慣**をつける、**基礎を繰り返し勉強**する。今のみんなにもできることです。

3年後の自分のために!毎日の授業を楽しくするために!前向きに取り組んでいこう!



ドリルノートがとっても役に立つことがわかりましたね?では、ルールの説明です。

☆ドリルノートのルール☆

- 1、毎週木曜日に**宿題範囲**を連絡します。
- 2、指定された範囲を、**専用ノート**に書いていきます。(書き方は**お手本**を参考に)**宿題が終わったらおうちの方からサイン**を忘れずにもらってください。
- 3、**翌週月曜日SHR**で担任の先生に**提出**します。
- 4、次のような場合はやり直しなどがあります。注意しましょう。
 - ①宿題をしてきていない→**居残り**して学校ですべて仕上げる。
 - ②日付け・ページも含めて、**抜けている所がある**→**居残り**して**完成**させる。
 - ③おうちの人の**サインがない**→持ち帰って**翌日SHR**で担任の先生に**提出**する。
 - ④家に忘れてきた→**17:00**までに取りに帰って出しにくる。
- 5、ドリルは**いつも連絡袋**に入れておいてください。授業でも使います。

最初は英語と国語を週替わりで宿題にします。それぞれのルールを確認しましょう。

国語「単元別漢字マスター」のルール

- 1、**毎回4ページ分の宿題**を出します。
- 2、**例文をそのまま行が終わるまで繰り返し書き**ます。文の終わりの「。」はいりません。
- 3、**①～⑤まで書いたら「入試によく出る漢字」よみ・書きを続けて書く。答えは左下。**
- 4、**最後に左側で太字になっている漢字に赤でふりがな**を書きます。最初の一つだけでいいです。
- 5、**毎回29行**使うはずですが、**見開きでノート**を使ってください。
ノートの左上に**勉強した日付とページ数**を忘れずに書いておきましょう。

英語「英単語集のルール」(ドリルは後日届きます)

- 1、**毎回2ページ分の宿題**を出します。
- 2、**英単語集とノートの両方に①～⑬までの数字**を書きます。
- 3、**一行に英単語集を5回以上繰り返し練習**します。英文の場合は**2回以上**書きます。
- 4、**英単語の下には意味**を書きます。英単語集に**オレンジで書かれている意味はすべて書く**こと。
- 5、**毎回ノートの左上に勉強した日付と、練習する最初と最後の単語**を記入すること。
なければ再提出です。



第1回目は、国語「単元別漢字マスター」P4～7。

提出日は5月1日(月)SHRです。

保護者のみなさま

平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして、ありがとうございます。以下二点について、ご理解とご協力をお願い致します。

《家庭学習について》

本校では、放課後学習会や夏トレなど、生徒の学力向上に向けての取り組みを進めています。基礎学力の定着には、家庭での**反復学習**が大切です。また、家庭で学習に取り組む習慣をつけることは、3年後の希望進路の実現にとって、**大変重要**です。つきましては、**基礎学力と家庭学習習慣の定着**をねらい、家庭学習ドリル(漢字・英語)をお子様に配布することとしました。大変お手数ですが、保護者のみなさまには、お子様の学習状況を確認していただき、**点検表へのサイン**をしていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

《少人数分割授業について》

吹田二中では、英語科は1、2年生、数学科は2、3年生の授業で**少人数分割授業**を実施いたします。分割の方法は、**習熟度別分割**、**均等分割**の2つの方法を考えています。習熟度別分割では、1クラスを基礎学力の定着を目的に**基本的な課題**に取り組むグループと**標準的な課題**から**発展的な課題**まで学習するグループに分かれて授業を行います。均等分割では、1クラスを**学力や性別**などを加味しながら、**2グループが平均的になるよう**に分かれて授業を行います。一斉授業(TT体制)を含め、1年間を通して、**学習内容に適した学習形態**を計画的に実施していきます。

